

対象年度	令和 7年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	工業団地整備推進事業						予算事業名	工業団地整備推進事業費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			07	01	07	20								
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分	主要事業						
	活力と創造力を育む商工業の振興							重点事業						
	企業支援の推進						担当課係等	商工観光課 企業立地推進室						
事業期間	継続 (平成27年度～令和10年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
多くの優良企業を誘致し、産業振興、雇用創出と定住促進に寄与し、市全体が発展する。						圏央道の開通や企業の積極的な設備投資を背景に、工業団地造成を行い、企業誘致を進めている。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 繁昌塚南地区の工業団地整備 ・ 繁昌塚南地区土地区画整理事業に関する各種支援 ・ 新たな工業団地の開発 						繁昌塚南地区 新工業団地新規地区 【事業をとりまく環境の変化】 圏央道茨城県開通や新4号国道の6車線化により、新工業団地として開発する繁昌塚南地区についてもすでに進出企業の目途がついている事から、市内工業団地については企業誘致を行う用地がない状況である。								
【令和 7年度 事業内容】			【令和 8年度 事業内容】			【令和 9年度 事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 繁昌塚南地区土地区画整理組合の運営 (工事期間) ・ 市ストックヤードから残土運搬 ・ 新たな工業団地の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 繁昌塚南地区土地区画整理組合の運営 (工事完了、引渡し) ・ 新たな工業団地の開発 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 繁昌塚南地区土地区画整理組合の運営 (清算手続き) ・ 新たな工業団地の開発 								

■ 事業費

		R05年度	R06年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	1,228	19			
歳入計 (千円)		1,228	19			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	10 需用費	7	19			
	12 委託料	1,221	0			
歳出計 (千円) (A)		1,228	19			
伸び率 (%)			-98.45			
備考						

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	県等との関係法令協議	回	目標	10.00	10.00	0.00
	繁昌塚南地区（新工業団地）に関する県等との関係法令協議回数		実績	8.00	0.00	0.00
	繁昌塚南地区工事関係協議		目標	0.00	24.00	48.00
	工事に関する施工者、設計者等その他関係機関との協議		実績	3.00	0.00	0.00
成果 指標	誘致企業数	社	目標	1.00	0.00	0.00
	若宮西地区に立地した企業数		実績	1.00	0.00	0.00
	雇用創出数	人	目標	100.00	0.00	0.00
	若宮西地区に立地した企業の雇用創出数		実績	50.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	雇用創出による人口流出抑制や税収増が期待され、事業の必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	工業団地整備に対する受益は市全体に及ぶものであり、関係法令手続きや事業への支援を行うことは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	当市としては一般的な手法である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	最低限の体制、予算措置により実施している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	雇用創出による人口流出抑制や税収増の観点から有益な事業であり、受益者は市全体に及ぶため偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	繁昌塚南地区は、都市計画決定し用地買収、事業認可申請の諸手続き、組合設立準備に向けて地元の合意形成等、おおむね進められている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
工業団地整備の成果として定住促進、税収増などの有益な事業効果をいかに見込むことが出来るかが課題となる。若宮西地区については、立地企業8社のうち7社が操業開始しており、残る1社も工事に着手し順調に進んでいるが、現状では工業団地内に企業誘致する用地が存在しないため、繁昌塚南地区の早期事業開始に向けて、関係機関等の調整や協議を進めていくのと同時に説明会や交渉を通じ地元との合意形成を図って行く必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
繁昌塚南地区の都市計画決定後、用地の買収や事業認可申請、土地区画整理組合の設立に向けた各種手続きをすみやかに、その後の工事や換地処分が円滑に進むよう準備を進めて行く。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容	
順調に進んでいる状況にある。工業団地整備に向け、工事予定業者をはじめ、地元組合、進出予定企業と協議を密に行い、迅速な造成工事を着工する必要がある。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	
上記評価のとおり	